

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫便り

平成 25 年 5 月 2 日 (NO.2)

浦幌町教育委員会



平成25年度推進委員会

■平成 25 年 4 月 26 日、「第 1 回浦幌町小中一貫教育推進委員会」を開き、次のような新体制が発足しました。

会 長 久門好行(教育長)

副会長 中村吉昭(浦幌小学校長)

副会長 森 雅仁(中央小学校長)

委 員	吉藤清孝(厚内小学校長)	平岡弘孝(浦幌中学校長)	宮村栄治(上浦幌中学校長)
	山本瑞聡(浦幌小教頭)	小室彰人(中央小教頭)	坂田春雄(浦幌中教頭)
	白井将之(上浦幌中教頭)	笹川尚哉(浦幌小教諭)	松村健史(厚内小教諭)
	花房由利子(中央小教諭)	鳥居真之(浦幌中教諭)	浜田英伸(上浦幌中教諭)
	佐藤芳雄(中央公民館館長)	鈴木信男(上浦幌公民館館長)	

事務局 山本輝男次長 鈴木広次次長補佐 高橋慎次次長補佐

菅野泰範係長 松田健一係長



■今年度の事業内容は、先進地視察として京都市(6月)や東京都(7月)、「小中一貫教育全国サミット in つくば」(11月)に各委員や事務局員をそれぞれ派遣します。

特に 11 月 15 日には、豊浦町において開催される小中一貫教育研究大会には、教育委員をはじめ多くの皆さんの参加を願っています。

■推進委員会の後半、地区コーディネーター会議が開かれ、相互授業参観や生徒指導連絡会、教科ごとの交流、学校行事の合同開催などについて協議されました。それらの事業計画は 5 月末までに事務局に報告することになっています。

教育研究所に諮問する

4 月 26 日、久門教育長から森 雅仁教育研究所長に対し、「浦幌町の小中一貫教育(コミュニティ・スクール)

の推進方針について」次の 5 点が諮問されました。

①小中一貫教育のわらいや期待される効果 ②9 年間を見通した連続性・一貫性のある教育課程及び生徒指導の在り方 ③児童生徒や教職員の交流 ④小中一貫教育の推進に必要な事項及びコミュニティ・スクールに関すること ⑤推進組織及び進め方 諮問期間は 2 年間。

Q&A Q4.「中1ギャップ」の実態はどのようですか。

●小学 6 年と中学 1 年について該当する人数を比較すると、いじめは 1.8 倍、不登校は 3.1 倍、暴力行為は 4.3 倍になるという報告もあります。

その背景として、小中学校間での生活文化や指導方法の段差が考えられます。

Q&A Q5.小中一貫校の形態上の違いはありますか。

●大きく 2 つに分類されます。①東京都品川区立日野学園のように、施設一体型の学校 ②東京三鷹市立おおさわ学園のように施設分離型の学校。

三笠市立岡山小学校と萱野中学校は、②の施設分離型になっています。